

結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の宮城県の人口は 2,360,218 人で、前回調査の 12 年に比べ 5,102 人、0.2%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、仙台市が 1,025,098 人（県人口の 43.4%）で最も多く、次いで石巻市が 167,324 人（同 7.1%）、登米市が 89,316 人（同 3.8%）、となっており、最も少ないのは七ヶ宿町の 1,871 人（同 0.1%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 1,149,172 人、女性が 1,211,046 人で、女性が 61,874 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 96.0 から 94.9 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 325,829 人（県人口の 13.8%）、15～64 歳人口は 1,558,087 人（同 66.0%）、65 歳以上人口は 470,512 人（同 19.9%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、1.1 ポイント低下、1.7 ポイント低下、2.6 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 61.1%、女性が 57.3%、未婚率は男性が 31.9%、女性が 23.7%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 11,851 人で、平成 12 年に比べ 1,450 人、13.9%増加している。
- 7 宮城県の一般世帯数は 858,628 世帯で、平成 12 年に比べ 26,959 世帯、3.2%増加している。また、一般世帯のうち 1 人世帯は 248,863 世帯（一般世帯の 29.0%）と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.80 人から 2.70 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 453,686 世帯（一般世帯の 52.8%）で、このうち夫婦のみの世帯は 146,213 世帯（同 17.0%）、夫婦と子供から成る世帯は 236,351 世帯（同 27.5%）となっている。また、単独世帯は 248,863 世帯（同 29.0%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 309,989 世帯（一般世帯の 36.1%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 50,323 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 16.2%）、高齢夫婦世帯^{（注）}は 65,436 世帯（同 21.1%）となっている。
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 61.5%で、平成 12 年に比べ 1.4 ポイント上昇している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 98.6 m²から 99.4 m²と広がっている。

図1 宮城県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

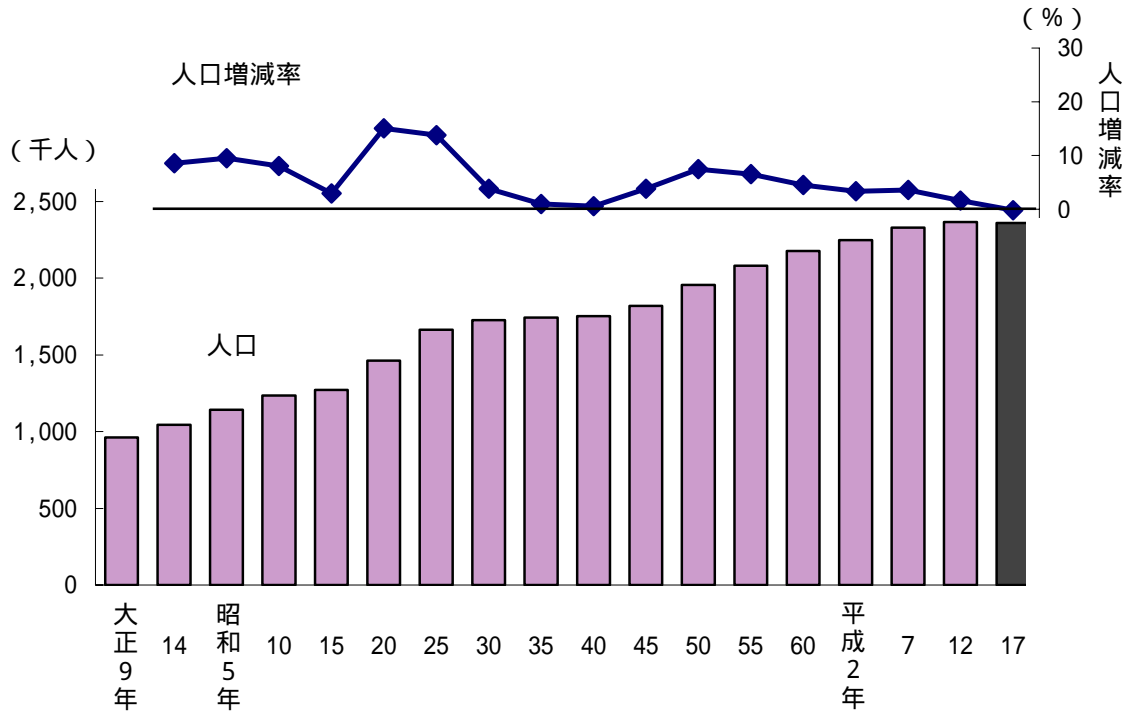


図2 宮城県の年齢（各歳），男女別人口（平成7年・17年）

